

うつ病になったら、復職への道を、 どう歩めばいいの!?

うつ病の人は100万人を超えていて、今も急速に増え続けている。うつ病になってしまつと、1日中憂うつで気分が落ち込み、疲労感やだるさが抜けないばかりか、仕事もうまくこなせなくなる。うつ病でやむなく休職している人は、復職の道をどう描けばいいの?



小林由佳院長

知識から簡単に行えるリラックス法まで、自分のストレスについて総合的に把握することを行います。こうした復職支援プログラムで社会復帰を目指すお手伝いをしているのが、メディカルスイッチの役目です」
「休職、療養というストレスフリーな状況から、ある意味での復職は、ある意味での復職環境に再び飛び込むわけですから、それを乗り切るために、自分分がいい。復職までの道を、小林院長とともに歩んでみてはどうだろう。」

【うつ病は、几帳面で仕事人間の間管理職が多】

【社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】

【「几帳面で頑張っている」男性は、とくに中間管理職の方に多いようです】

【「社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】

【「几帳面で頑張っている」男性は、とくに中間管理職の方に多いようです】

【「社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】

【「几帳面で頑張っている」男性は、とくに中間管理職の方に多いようです】

【「社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】

【「几帳面で頑張っている」男性は、とくに中間管理職の方に多いようです】

【「社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】

【「几帳面で頑張っている」男性は、とくに中間管理職の方に多いようです】

【「社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】

【「社会復帰のサポートが抗うつ薬は、服用を始めて効きたすのに1〜2カ月はかかるという。うつ病でやむなく休職している人は、だるさや倦怠感など、生活を整えることが、うつ病の治療には重要だ。】



一定時間のパソコン操作で集中力の向上を目指す



まるでスポーツジムのようなトレーニング機器がならぶ

【復職を目指すお手伝いをするのが役目です】
再発が多い問題についての対策が必要となる。その

日刊ゲンダイ
10月29日版に当院が掲載されました。

【メディカルスイッチ】
東京都渋谷区渋谷1-14
11-6F (03・5778・3600)
支援プログラムのなかで
ストレスに関する専門的
<http://medicalswitch.com>